

文化活動を応援します！  
—日高町文化賞表彰—



11月4日(木)、日高町中央公民館において、令和3年度日高町文化賞表彰式が執り行われました。

今年度の受賞者は以下のとおりです。

文化奨励賞

- 小西未矩さん(紀央館高3年、小中)  
第41回近畿高等学校総合文化祭 書道部門 出品
- 白樫美玲さん(日高高3年、原谷)  
第41回近畿高等学校総合文化祭 美術工芸部門 出品

留学中のカリッサさん・ヌリンさん  
—町長室を表敬訪問—



11月16日(火)、公益財団法人AFS日本協会紀中支部のアジア高校生架け橋プロジェクトで日高高校に留学中のカリッサ・フタバラトさん(インドネシア・バンドン市)とヌリン・ロスマンさん(マレーシア・スラソングール州)が町長室を表敬訪問されました。

同プロジェクトは、2017年6月に開催された国際交流会議「アジアの未来」で、日本人高校生との国際交流を深めることを目的とし、アジア諸国で日本語を学ぶ意欲のある高校生を日本全国の高校に招へいるプロジェクト。

この日、2人と堀内支部長が町長室を訪れ、「ようこそいらっしゃいました。日本には慣れましたか?」などと質問し、2人とも「コミュニケーションが不安だったけど、日本人は親切で礼儀正しく、日高高校生活は楽しい」と話していました。

松本町長は、「コロナで大変ですが、これからも頑張って、日本を楽しんでください」と激励。

カリッサさんは「日本のテクノロジーや文化を学びたい。また祭りなどのイベントを見てみたい」、ヌリンさんは「日本の技術やインフラに興味があり、アニメや茶道などの文化を体験したり、日本語を上手に話せるようになりたい」と語ってくれました。

## デンマークとの友好の証 —キンセンカの苗を植栽—



11月9日(火)、日高町ボランティア連絡協議会(白井たづ代会長)のメンバーら約30名が、町ふれあいセンター駐車場の花壇にキンセンカの苗500株を植えました。

キンセンカは、故ヨハネス・クヌッセン機関長が好きだった花で、デンマークのフレデリクスハウン市長から譲り受けた種から育てて今年で14代目。2月～3月頃に見頃を迎えるそうです。今年は全部で2000株ほどの苗が育ち、町内の保育所や小中学校、役場周辺でも植えられました。

11月16日(火)、萩原住民公園において第72回日高町老人ゲートボール大会が、全6チームの参加を得て開催されました。

選手宣誓のあと、参加者らは2つのコートに分かれて競技を開始。各チーム3試合のリーグ戦で、熱戦が繰り広げられました。その結果、荊木Aチームが優勝を飾りました。

順位	チーム名
優勝	荊木A
準優勝	谷口
3位	池田A

## 荊木Aチームが優勝 —老人ゲートボール大会—



優勝の荊木Aチーム

11月23日(火)、原谷黒竹工房ぴかいちの皆様にご協力いただき、黒竹を使った干支の民芸品作りを行いました。

この日、11名の小学生が参加し、親子で楽しく作成し、子供たちからは「可愛くできたので玄関に飾りたい」などの声もあがっていました。

今後も継続して、日高広域観光振興協議会(事務局:日高振興局企画産業課)主催により、日高地方の観光資源を学び、体験できる「観光ゼミナール」を開催予定ですので、ぜひご参加ください。

## 和歌山県内の小学生 —黒竹の民芸品作り—

